

《題目》“よいしょ”で出世した社員 その2

前回の“よいしょ”で出世した社員の続き、2回目です。

さて、それから、数か月して、日本医学会で、仲人をしてもらった前の事業部長に会ったのですが、何と話しかけたら良いのか迷っていると、向こうから声を掛けてきてくれ、その人と一緒に学会に来ていた友人の医師数名に『有望な奴だから、何かあったら頼む』と私を紹介してくれたのです。私の誘いで一緒にコーヒーを飲むことになり、その席で、前の事業部長が、『Xの奴は、俺が会社を去ったら、何にもしてくれん』そう言われました。ちなみに、私はその人が会社を去った後もお中元とお歳暮に、サントリーの Royal を欠かさず送っていました。これ以後、『毎回 Royal』は止め、その都度、厳選したものを送るようにしました。X氏の、その後の事は知りませんが、別の友人によれば、某大学で博士号を取り、転職した某日本メーカーで役員になったらしいとのこと。また、『よいしょ』をしたのでしょうか？

どちらの生き方が正しいのでしょうか？やはり、日本社会においては、X氏の方なのでしょうか？私は、ただの『バカ正直』なのでしょうか？多くの管理職の人が、『それはX氏でしょう』と言うのであれば、日本の将来に期待は持てないと、私は信じています。『10：0で私』ということは絶対に無いと思います。でも、『6：4で私』、できれば『7：3で私』であってほしいと思います。大学卒業前に起きたオイルショックと就職氷河期の中で、ブリストルを紹介していた先輩や、バイオ・ラッドへ転職する時に、修士も博士も持っていない私を、研究開発に紹介してくれたA医科大学の先生、バイオ・ラッドに入社した時の直属の上司、バイオ・ラッド入社直後に派遣されたB医科大学の先生など、節目・節目で、私を支援してくれた方々、既にお亡くなりになった人もいますが、未だに親しくさせて頂いております。更に、日本国内だけでなく、国際的にも非常に高名な研究者の先生と親しくさせて頂いております。

これが、私の人生の宝であり、『それはX氏でしょう』と言う人には、心底から本音で話せる人が何人居ますか？と尋ねてみたいと思います。私のHPの落語ブレイクに『川の流れて、借金の山』という題名のものがあります。人間として大切なものは何か？会社を利用するのでなく、会社の為に何をするかを考えているのは、どちらでしょうか！会社の経営者は、それが判る人達であってほしいと思っております。

“よいしょ”されれば、誰しも悪い気はしません。内容や程度にも拠りますが。しかし、そのような人材を重要なポジションに就けることが、短期的及び長期的な会社や組織の発展成長に繋がるのでしょうか？営業は、毎年の売上目標達成に注力することが重要でしょうし、マーケティング他は5年とか10年先までの発展成長の為に戦略を立てることが必要です。“よいしょ”しかできない人材が多く管理職や経営層を占めるのであれば、間違いなく、その会社・組織の長期的成長は望めないのではないのでしょうか！